

平成26年第1回定例会の概要

平成26年第1回定例会は、3月4日から3月18日までの15日間にわたって開かれ、市長提出の7報告・80議案、議員提出の5議案を、慎重な審議の上、いずれも原案どおり承認・可決・同意いたしました。

また3月4日に全議員で構成される予算特別委員会が設置され、委員長に大久保朝泰委員、副委員長に工藤和行委員を選任し、平成26年度一般会計、各特別会計、各財産区会計、各事業会計予算の審査を行いました。

各議案の議決結果と各会派の賛否は次ページをご覧ください。

また、議会改革推進特別委員会と議会だより編集特別委員会の2つの特別委員会を設置しました。委員会の構成は8Pに掲載しております。

平成26年度黒石市一般会計予算に対する討論

反対討論

A、反対の1つは消費税が全体に散りばめられている事であります。税率が約8%に引き上げられるだけで約8兆円の大増税です。年金削減、社会保障の負担、給付減合わせると10兆円の大増税。

2つ目はUPる先生でありますが、習熟度別の指導は馴染めない、学力を向上させたいのであればクラスを少人数学級にするべきである。

3つ目は住宅リフォームは県の事業であり4件しかないの、市民に伝えていないので独自のものを実施していただきたい。

4つ目は障害者雇用について欠員があるのに補充していない。できるだけ早く対応しようとする事が感じられない点から反対するものであります。

B、市では避難場所である社会福祉センターに太陽光発電機を設置しようとしている。維持管理費30万円見込んでいるが、専門家が指摘するには170万円ぐらい必要との事であり、予想以上に経費がかかる。よって予算に反対するものであります。

C、旧松の湯隣接の土地購入費1,200万円は計画性が無いものであるとともに、まちづくりを進める事との整合性はないという観点から反対するものであります。

賛成討論

A、新年度予算は財政調整基金を取り崩しているものの、財政健全化に向けての計画的なものであり、その取組みも着実に進展しているところであります。

厳しい財政環境が続く中で、必要な社会資本の整備や、市民サービスの向上などが盛り込まれており、評価できるものと思っております。また、新規事業を初めとして、創意と工夫が感じ取られ市民の福祉の向上が期待でき、消費税の転換は国で決まっているものであります。よって予算に賛成するものであります。

B、消費税関係に関しては、8%で徴収しなければならない。あらゆる産業に影響する。

再生エネルギーに関しては2億円が国の補助金でありますので有効に使わなければならないという観点から賛成するものであります。

C、松の湯の駐車場は隣地でもあり、ましてや坪5万円以下という安価であるとともに、こみせに来た方々にも必要になる観点から賛成するものであります。

賛成多数により原案可決

議員提出議案 「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書の提出について

障害者権利条約の批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、平成 23 年 8 月に成立した「改正障害者基本法」では、「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められました。

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子供が手話を身につけ、手話で学び、自由に手話が使え、さらには手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書を全議員賛成で内閣総理大臣へ提出しました。

第 1 回定例会の報告・議決結果と各会派の賛否一覧（○は賛成、●は反対）

| 番 号 | 件 名 | 会 派 名 | 自民・公明 ク ラ ブ | 黒石市民 ク ラ ブ | 日 共 産 党 | 議 決 結 果 |
|----------------------------|---|-------|----------------|---------------|---------|----------------|
| 報告第 1 号 | 平成 25 年度黒石市水道事業会計補正予算（第 2 号）について | | ○ | ○ | ○ | 承 認 |
| 報告第 2 号 | 平成 25 年度黒石市一般会計補正予算（第 7 号）について | | ○ | ○ | ○ | 承 認 |
| 報告第 3 号 から 報告第 7 号 | 権利の放棄について | | ○ | ○ | ○ | 報 告 |
| 議案第 1 号 から 議案第 4 号 | 黒石市固定資産評価審査委員会条例、黒石市情報公開条例、黒石市国民保護協議会条例、黒石市特別職の職員の給料等に関する条例等の一部を改正する条例制定について | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 5 号 | 黒石市一般職職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について | | ○ | ○ | ● | 原案可決 (起立多数) |
| 議案第 6 号 から 議案第 8 号 | 黒石市ひとり親家庭等医療費給付条例、黒石市落合共同浴場条例、黒石市火入れに関する条例の一部を改正する条例制定について | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 9 号 | 黒石市沖揚平交流センター条例を廃止する条例制定について | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 10 号 から 議案第 12 号 | 黒石市道路占用料徴収条例、黒石市営住宅管理条例、黒石市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について | | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議案第 13 号 から 議案第 45 号 | 黒石市行政財産の使用料徴収条例、黒石市老人福祉センター条例、黒石市姥懐霊園墓地条例、黒石市農村活性化施設条例、黒石市花巻村づくりセンター条例、黒石市袋生活改善センター条例、黒石市小屋敷集落研修センター条例、黒石市派村集落研修センター条例、黒石市高賀野集落農業研修センター条例、黒石市農村環境改善センター条例、黒石市農業集落排水処理施設条例、黒石市有機物資源活用センター条例、黒石市産業会館条例、津軽伝承工芸館条例、津軽こけし館条例、黒石市虹の湖公園管理条例、津軽こみせ駅条例、黒石市都市公園条例、黒石市下水道条例、黒石市立学校使用料条例、黒石市民文化会館条例、黒石市婦人会館条例、黒石市勤労青少年ホーム条例、黒石市立公民館条例、黒石市西部地区センター条例、スポカルイン黒石条例、黒石市中央スポーツ館条例、黒石市立武道場条例、黒石市北地区小体育館条例、黒石市上水道事業給水条例、黒石市簡易水道事業給水条例、黒石市温泉供給事業条例、黒石市国民健康保険黒石病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例制定について | | ○ | ○ | ● | 原案可決 (起立多数) |

| 番 号 | 件 名 | 会 派 名 | 自民・公明 ク ラ ブ | 黒 石 市 民 ク ラ ブ | 日 共 産 党 | 本 党 | 議 決 結 果 |
|------------------------|--|-------|----------------|------------------|---------|-----|----------------|
| 議案第46号 から 議案第48号 | 黒石市水道事業の設置等に関する条例、黒石市下水道事業の設置等に関する条例、黒石市国民健康保険黒石病院事業の設置及び経営の基本に関する条例の一部を改正する条例制定について | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議案第49号 | 権利の放棄について | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議案第50号 | 市道の路線認定について | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議案第51号 | 災害復旧事業の施工について | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議案第52号 | 教育委員会委員の任命について | | ○ | ○ | ○ | | 同 意 |
| 議案第53号 から 議案第56号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて | | ○ | ○ | ○ | | 同 意 |
| 議案第57号 | 平成25年度黒石市一般会計補正予算(第8号) | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議案第58号 | 平成25年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算(第3号) | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議案第59号 | 平成25年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議案第60号 | 平成25年度黒石市介護保険特別会計補正予算(第3号) | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議案第61号 | 平成25年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算(第2号) | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議案第62号 | 平成25年度黒石市下水道事業会計補正予算(第2号) | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議案第63号 | 平成26年度黒石市一般会計予算 | | ○ | ● | ● | | 原案可決 (起立多数) |
| 議案第64号 から 議案第67号 | 平成26年度黒石市国民健康保険、黒石市後期高齢者医療、黒石市姥懐霊園墓地、黒石市介護保険特別会計予算 | | ○ | ○ | ● | | 原案可決 (起立多数) |
| 議案第68号 | 平成26年度黒石市観光施設事業特別会計予算 | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議案第69号 から 議案第71号 | 平成26年度黒石市簡易水道、黒石市温泉供給事業、黒石市農業集落排水事業特別会計予算 | | ○ | ○ | ● | | 原案可決 (起立多数) |
| 議案第72号 | 平成26年度黒石市土地取得特別会計予算 | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議案第73号 から 議案第75号 | 平成26年度黒石市国民健康保険黒石病院事業、黒石市水道事業、黒石市下水道事業会計予算 | | ○ | ○ | ● | | 原案可決 (起立多数) |
| 議案第76号 から 議案第80号 | 平成26年度黒石市中川財産区、黒石市上十川財産区、黒石市追子野木財産区、黒石市温湯財産区、黒石市袋財産区会計予算 | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議員提出 議案第1号 | 黒石市議会基本条例制定について | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議員提出 議案第2号 | 黒石市議会政務活動費の交付に関する条例制定について | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議員提出 議案第3号 | 黒石市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議員提出 議案第4号 | 黒石市議会会議規則の一部を改正する規則制定について | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |
| 議員提出 議案第5号 | 「手話言語法(仮称)」の制定を求める意見書の提出について | | ○ | ○ | ○ | | 原案可決 |

第1回定例会一般質問



自民・公明クラブ

なかた

中田

ひろふみ

博文 議員

問 市民文化会館一部再開の見通しについて、平成19年9月議会にて平成20年から休館にするとの声明があり、平成26年度で7年目になる。市の基金が9億円あったときは、一部再開はかなうと思っただがかなわなかった。今基金は減少しており平成27年度の一部再開もかなわないと思うが。



答 平成26年度は市税の落ち込み等により一般財源が減少し、再開のための財源確保は困難であるとともに、その後の運営費の確保も難しいと考えています。さらに27年度の財政健全化が市の最重要課題であり、現時点では一部再開の時期は明言できません。

問 短命市返上に向けての市の取り組みについて、がん予防や健康検診等は最低限必要だが、高齢者に生きがいを持たせることや、食の管理、運動の推進を含め市民の健康、平均寿命を延ばすために市役所内にプロジェクトチームを編成してほしい。

答 プロジェクトチームの編成は今すぐには難しいと考えています。ただ、職員が健康づくりに関し、市民にアドバイスができるように努力したいと考えています。



自民・公明クラブ

くろいし

黒石

ななこ

ナナ子 議員

問 市制施行60周年に向けて、新たに市内の優れた景観、歴史文化遺産、市民が誇れる風景等を広く市民から募集し、それらを指定するなど景観の保存に向けた事業は実施できないか。

答 市制60周年記念事業の一環として、今昔写真の展示及び写真集作成を考えています。今昔写真を市民等から募集しデータ化して保存し、記録写真集も作成予定です。

問 明暦より神職の俸禄として中野神社へ社寺祿高4万5斗が下賜せられてから現在31代目で、13代から16代にかけて検非違使庁長官である別当が置かれた。悠久の歴史がある里山文化と黒石に点在する社寺などをあわせ遺産登録し、さらなる観光振興ができないか。

答 所有者の同意が得られた場合には、古文書等の調査・研究による事実確認を経て、周知方法を検討したいと考えています。

問 南中野町内を流れている田山堰の水を冬期間、流雪溝として活用できないものか。

答 現在の整備計画にめどが立った段階で要望のある他の地区とも併せて検討したいと考えています。



自民・公明クラブ

くどう

工藤

かずゆき

和行 議員

問 平成26年度予算について、予算編成は財政的にどうなのか、財政負担増の理由は。

答 国は地方税収は増えるとし、地方交付税、臨時財政対策債を抑制し、一般財源の総額を確保したとしています。市の予算では税収・臨時財政対策債等が減少し、税率引き上げによる地方消費税交付金は増額になりますが、交付時期のずれにより26年度は一部しか反映されない見込みです。歳出増の主要因は旧松の湯再生事業や再生可能エネルギー事業等の大型事業ですが、国等の補助金や基金を活用し財源を確保しています。また、扶助費は伸びる一方であり、消費税率の引上げや電気料・燃料費の高騰による物件費の増も要因です。

問 小・中学校適正配置について、統合の枠組みを平成26年度中に明確にするというが、その為どのような進め方をするのか。

答 各地区協議会と協議し、実施に向け枠組みや送迎の運行基準等を盛り込んだ適正配置実施計画案を作成します。その後、範囲を広げた地区説明会を実施し、市民の意見を集約した適正配置実施計画を策定します。



自民・公明クラブ
おおみぞ まさひろ
大溝 雅昭 議員

問 平成26年度主要施策の空き店舗対策事業、地元産業魅力度アップ事業、算数・数学「UPる」事業の内容は。

答 空き店舗対策の家賃補助を拡充し、改装費補助を新設しました。

中小企業者等が、県外の商談会に出展するための出展料の一部を補助します。

学習意欲向上と算数・数学の学習内容の定着のために指導員を派遣し、少人数指導、個別指導を行います。教師の指導力強化も図ります。

問 黒石市景観シンポジウムの内容と、黒石市景観計画策定のスケジュールは。

答 基調講演、各事業の発表、こみせ再生提案の発表、パネルディスカッションを行い市内外から120人の参加がありました。

黒石らしい景観の保全のために26年度制定し27年度の運用を考えています。

問 アメリカシロヒトリの被害と対策は。

答 市の管理する樹木や街路樹の他、13校1公民館で被害があり、対策をしました。市民からは13件の苦情がありました。タイムリーな情報を市の広報誌やホームページなどで発信します。



自民・公明クラブ
いまい たかし
今井 敬 議員

問 格差社会の影響で地方公務員も非正規職員(臨時職員)が増大している中、当市の臨時職員数と労働条件の違いは。

答 2012年度で臨時職員は28名、パート職員40名で正職員との割合は全国平均16.3%に対し黒石市は12.9%となっており、30代平均で正職員給料23万7千円、一般事務の臨時職員賃金は12万2千円、同パートタイマー賃金は10万1千円となっております。

問 近年行政の組織改革がないように思われる。人事異動のポイントは何か、また、昇任試験制度を導入してはどうか。

答 組織の活性化と効率的な人材育成が主たる目的であり、適材適所の人事配置が必要です。昇任試験はいまのところ考えていません。

問 国の教育委員会制度改革に対する教育長の見解は。学力テストの学校別公開についての見解は。

答 現在国政で議論されており、私の意見は差し控えています。学力テスト学校別公開については、学校の序列化や過度な競争などの悪影響が予想されるため公表を行う予定はありません。



自民・公明クラブ
くどう としひろ
工藤 俊広 議員

問 こみせの再生や、まちなか活性化を強化していくべきと思うがどうか。

答 財政再建の観点から、こみせの再生に踏み込めなかった現状がありました。今後、活性化を強化していく為にまちづくりを特化したまちづくり係を新たに設置し、関係者との連携の強化を深め観光拠点、防災、地域コミュニケーションなど、包括的にまちなかの再生と活性化の取り組みを強化します。



問 健康長寿の取り組みの強化を先進地の東海市に学ぶべきではないか。

答 全庁的な取り組みになる事から、研究を進めたいので時間が欲しいと思います。

問 消費税の引き上げに伴い、LED照明などの省エネルギー化への取り組みを行うべきであると思うがどうか。

答 今年度予算では光熱費などが約17%の増、燃料費が約16%の増額と見込んでいます。初期投資の費用とLED照明などによる効果を直ちに試算し26年度で調査し、27年度には反映させたいと思います。



問 介護保険制度見直しへの対応は。
答 現状のサービスを極力維持したいと考えております。年金収入額 280 万円以上でサービスは 2 割負担となり、黒石市は 100 人ほどが対象となります。

問 健康増進の取り組みは。
答 特定健診の結果で運動メニューや食事メニューの指導実施は検討したいと思っております。市内の食事処にカロリー計算したメニューを出せるよう、早い機会に関係機関、事業者さんと協議したいと考えております。

問 子どもの医療費無料化の対象を広げる考えは。
答 できるだけ広げたいが現状では就学前までしかできておりません。他市と比べて所得制限をなくして実施したいです。



問 障がい者の雇用と、ろうあ者等のための耳マークの窓口表示をできないか。
答 黒石公共職業安定所管内の障がい者雇用率は 2・27% となっており、市役所の障がい者雇用数は 1・84% で 2 人不足となっています。耳マークの表示は早めには実施したいと考えています。

【黒石市バイオ技術センターの調査】

黒石市バイオ技術センターは、平成 4 年 4 月に設立され、観賞用りんごの育成、ねぎ・アスパラガス等の優良種苗生産にバイオテクノロジーを活用し、取り組んできました。

しかし、平成 20 年度からは常駐しておらず、実質活用されていません。国の補助事業のため活用には制約があるものの、建物の耐用年数はあと 25 年あることから、利活用をもっと研究してはどうかと委員から意見が出されました。

【中心商店街空き店舗の調査】

平成 26 年度重点事業の中の新規事業で「商店街空き店舗対策事業」が実施されることに伴って、空き店舗の状況把握をしました。

一番町通り、こみせ通り、横町の各商店街の調査では、空き店舗数は平成 25 年に 40 件ありました。

営業不振、後継者不在で閉店が多く、建物の老朽化が目立ちました。今後の事業に期待します。



**経済建設常任委員会
活動報告**

4 月 23 日視察実施

- | | | |
|------|----|----|
| 委員長 | 今井 | 敬 |
| 副委員長 | 工藤 | 禎子 |
| 委員 | 中田 | 博文 |
| 〃 | 村上 | 啓二 |
| 〃 | 工藤 | 和子 |

●議員活動報告

自民・公明クラブ

- | | | | | |
|-----|----|---|----|-----|
| 村上 | 隆昭 | ・ | 工藤 | 俊広 |
| 北山 | 一衛 | ・ | 大溝 | 雅昭 |
| 大久保 | 朝泰 | ・ | 工藤 | 和行 |
| 中田 | 博文 | ・ | 村上 | 啓二 |
| 今井 | 敬 | ・ | 黒石 | ナナ子 |

視察先

福島県大内宿
 福島県庁
 (4 月 15、16 日)

【福島県大内宿 視察目的「伝建群の町並み保存の状況」について】



南会津の山中にある大内宿は、全長約 450 m の往還の両側に寄棟造の民家が建ち並び、江戸時代には「半農半宿」の宿場でした。

現在でもその雰囲気をよく残し、田園の中の旧街道沿いに 30 軒以上の茅葺き屋根の民家が並ぶ様子は極めて珍しく、100 万人以上の観光客が訪れ賑わいを見せています。

黒石市ももっと伝建群を活かす必要性を感じました。

【福島県庁 視察目的「原発事故対策」について】

福島県庁では、3 年が経過した後の避難の状況・課題、原発事故を教訓とした立地県がすべき原発事故対策についての研修を行いました。

現在でも、約 13 万人が避難生活を続けており、担当課長から「原発事故の被害の大きさ、深刻さ、時間の長さ、影響の大きさなど計り知れないことが、現実には起こっている」と復興の終息がなかなか見えない状況について説明を受けました。これからも県民の安心・安全のために全力を尽くしていきたいとの強いメッセージを受け、我が会派もできる限りの協力をしていきたいと思っております。

「議会基本条例について」

黒石市議会は、平成 26 年第一回定例会において議会基本条例を全議員による議員提出議案として可決・制定しました。

平成 23 年 12 月に議会改革推進委員会を設置し、議会改革に取り組み、議会報告会の開催、議会だよりの発行をしてきました。議会改革の一環として、議会の基本理念、議員の活動原則等を明記した条例が必要であるとの思いで基本条例を作成することになり、およそ 1 年をかけ、制定の運びとなりました。青森県内市町村において 4 番目（青森市、むつ市、野辺地町に次いで）の制定であります。

この条例は、前文、第 1 章から第 8 章、第 1 条から第 22 条で構成されています。

前文では、まず、いずれも市民の直接選挙により選ばれた議員と市長とが、それぞれ独立の立場において相互に牽制し、その均衡と調和の上に地方公共団体が運営されるという「二代表制」のもとで、議会が、法により付与された権能を十分に活用しながら、市長とともに地方自治の本来の趣旨を実現するものであることを確認しています。また、地方分権の進展に伴い、議事機関としての議会に課せられた使命がどのようなものとなっているかを明らかにしています。前文の結びでは、黒石市議会が市民の負託に全力で応えるために、この条例を制定することを宣言しています。

次号では、議会基本条例第 1 章総則、第 1 条から報告してまいりたいと思います。

議会 豆知識

● 常任委員会

議案等を審査するため 経済建設常任委員会、民生福祉常任委員会の 3 つの委員会が設置され各議員は必ずいずれかの委員会に属しています。

● 議会運営委員会

議会が円滑に運営できるように、会議の進め方などを協議するため必要に応じて開かれます。

● 特別委員会

黒石市には、予算、決算特別委員会が設置されていますが、平成 26 年第一回定例会で議会改革推進特別委員会と議会だより編集特別委員会という 2 つの特別委員会が加わりました。

| 議会改革推進特別委員会（6人） | | 議会だより編集特別委員会（6人） | |
|-----------------|-------|------------------|--------|
| 委員長 | 工藤俊広 | 委員長 | 大溝雅昭 |
| 副委員長 | 大久保朝泰 | 副委員長 | 工藤和行 |
| 委員 | 村上隆昭 | 委員 | 中田博文 |
| 〃 | 山田 鉦一 | 〃 | 工藤和子 |
| 〃 | 佐々木 隆 | 〃 | 佐々木 隆 |
| 〃 | 今井 敬 | 〃 | 黒石 ナナ子 |

編集後記

昨年黒石市議会だよりがスタートし、昨年度は 4 回の発行をいたしました。今年度は、委員会の人数、メンバーも少し変わり、2 年目の新しいスタートを切り、第 5 号を発刊いたしました。

最初の年は、ホップ・ステップ・ジャンプのホップの年でした。何を伝えるか、基本を押さえながらとにかく地面から飛び上がるスタートの年でした。今年はステップの年、より多くの人に見てもらうため工夫を凝らしていければと考えております。

議会報告会の開催、議会基本条例の制定と合わせて、黒石市議会の改革は着実に進んでいます。議会の中身も一問一答の導入等変化してゆく予定ですので、みなさん傍聴しに来てください。

大溝 雅昭

議会だより編集委員会

委員長 大溝雅昭
副委員長 工藤和行
委員 中田博文
委員 工藤和子
委員 佐々木隆
委員 黒石 ナナ子

お問い合わせ先

黒石市議会事務局

〒036-0396 黒石市大字市ノ町 11 番地 1 号
電話 0172-1521212
FAX 0172-15317410